

# 令和4年度 重層的支援体制構築推進人材養成研修 基礎編・応用編 研修の全体像

2022年10月

厚生労働省 社会・援護局

地域福祉課 地域共生社会推進室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

## 基礎編の到達目標と研修の流れ



# 1. 本研修（基礎編）の全体像

## — 到達目標

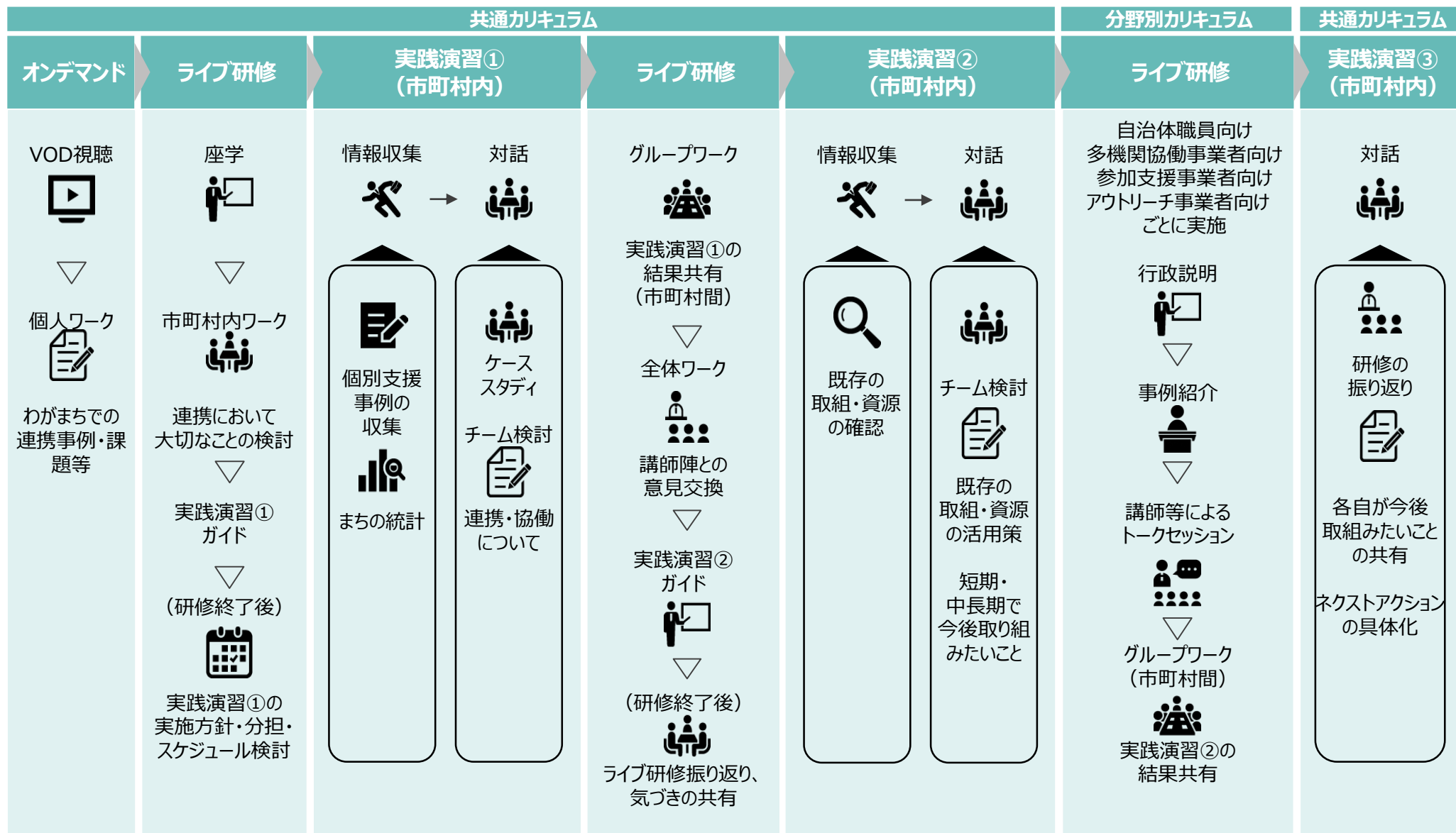
- 重層事業の推進にあたっては、制度の理念や考え方、実践方法を理解するだけでなく、**地域の関係者ととも現実に問題に向き合い、課題認識を共有し、同じ方向を向いて協働**していくことが必要である。
- そこで、基礎編研修の一環として、わがまちの個別支援事例や課題、地域資源、既存の取組等について収集・共有し、対話を通じて協力者との相互理解を深め、**連携して取り組む意義や具体的に取り組んでいきたいことを見つける**ことを目指す。

### 最終的な 到達目標

- ✓ 重層事業の必要性について“腹落ち”している。わがまちで起きている問題や活かせるような取組等を重層の理念とともに自分の言葉で語れる。
- ✓ 庁内外の主要な関係者間※で、研修終了後も主体的に連携が図られる。仲間ができる。※特に、重層事業の枠組みを整備する担当者、分野別事業の担当者、委託事業者の担当者
- ✓ 研修終了後に、庁内外の関係者と協力して取り組みたいことを見出せる。

# 1. 本研修（基礎編）の全体像

## — 研修の流れ



## 応用編の到達目標と研修の流れ

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

# 1. 本研修（応用編）の全体像

## — 到達目標

- 重層事業が開始し、福祉関係部署や専門機関との相談・連携体制の整備が行われてきたが、市町村や支援機関からは、地域共生に資する地域の活動の展開についてどのように取り組めばよいのかわからないという声が聞かれる。
- そこで、応用編研修では、座学におけるポイントの解説、わがまちで取り組む実践課題、フォローアップでのアドバイザーとの個別の意見交換を通して、地域活動を展開していくためのポイントや求められる意識や行動について理解し、それぞれの立場から今後取り組みたいことやネクストアクションにつながるヒントを得ることを目指す。

### 最終的な 到達目標

- ✓ 地域活動を展開していくための取組のポイントや、求められる意識や行動について、具体的なイメージを持って理解できるようになる。
- ✓ 研修終了後にわがまちで取り組みたいことやネクストアクションが見出せる。

### 3. 事例報告・トークセッション — 研修の流れ

座学  
11月

オンライン

- ✓ 事例やトークセッションを基に地域活動を展開していくためのポイントを学ぶ
  - ✓ 実践事例の共有
  - ✓ 実践者・有識者によるトークセッション



- ✓ グループワークで事例・トークセッションの気づきや学びを整理する

実践演習  
11-12月  
個人ワーク

- ✓ 地域への想いを持って活動する個人のもとへ足を運び、想いを聞き、レポートを作成する



フォローアップ  
1月  
オンライン

- ✓ 実践演習で取り組んだ内容をグループで共有・意見交換し、講師や他の参加者と意見交換を行う
- ✓ 今後のアクションを検討する

